

 **カツラギ工業株式会社**  
KATSURAGI INDUSTRY CO.,LTD.

本 社 〒557-0063 大阪市西成区南津守5丁目4番6号  
TEL.(06)6659-2432(代) FAX(06)6658-3789

HEAD OFFICE 5-4-6 MINAMI-TSUMORI NISHINARIKU,  
OSAKA, 557-0063, JAPAN  
TEL.+81-6-6659-2432 FAX.+81-6-6658-3789

<https://www.katsuragi.co.jp/>





# Industry and Environment



## ものづくりから環境保全まで 「乾燥」「濃縮」「晶析」の 三つの技術で社会に貢献する

カツラギ工業は、ドラムドライヤーをはじめとする各種乾燥装置をメインに、蒸発濃縮装置、晶析装置といった化学装置を製造・販売しているメーカーです。当社の製品は、化学や食品から医薬品、電子部品にいたるまで、幅広いものづくりの現場を支えるとともに、廃水処理やリサイクルなど、環境分野にも貢献しています。

乾燥装置  
Dryers



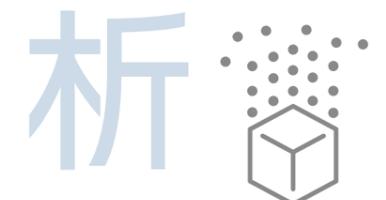
物質に含まれている水分を、加熱により乾かし完全に除去する技術。ドラムドライヤーは、国内納入実績 No.1 を誇るカツラギ工業の主力製品です。

蒸発濃縮装置  
Concentrators



溶液中の水分などを沸騰・蒸発させ、濃度の高い液体をつくる技術。水以外の物質だけを濃くすることができるため、廃水処理などにも活用できます。

晶析装置  
Crystallizers



溶液から必要な成分を結晶化して析出させる技術。カツラギ工業では小スペースで大量生産を可能にする、工業規模の連続晶析を得意としています。



# Sustainable Society

## 廃水浄化やリサイクルを通して サステイナブルな未来を支える

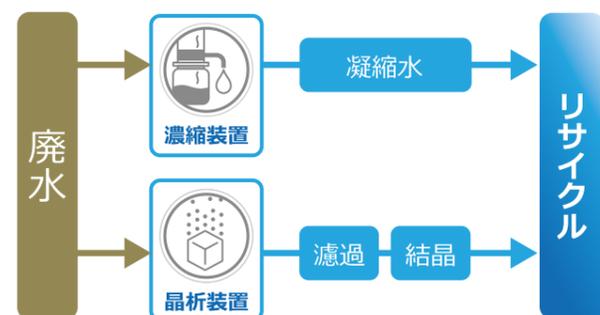
SDGsにも貢献する多彩な技術



工場や最終処分場から  
出る廃水を適切に処理



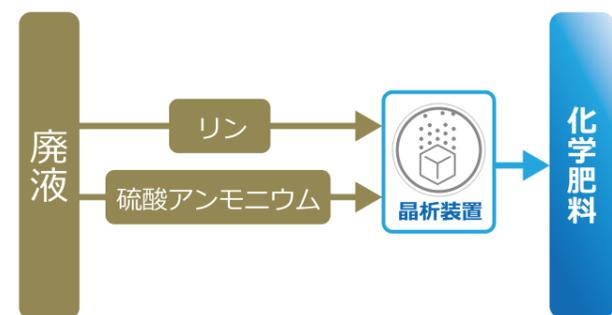
工場廃水の水分を蒸発させ、固化・濃縮することで、廃水自体の体積を減らすことができます。またゴミの最終処分場では、出てきた廃水をきれいな水と不純物に分ける際に当社の装置が利用されています。



製造後の廃液から、  
肥料となる成分を抽出



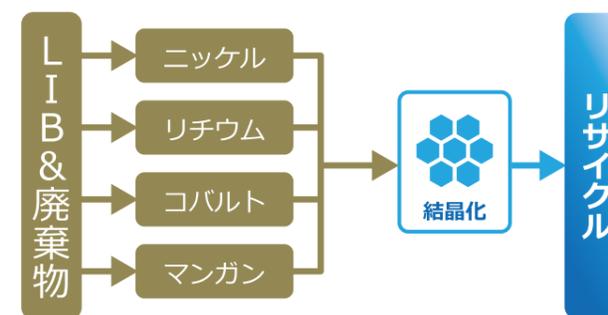
製品製造時に排出される廃液から、リンや硫酸アンモニウムなど肥料となる成分を抽出し、結晶化する行程に、当社の装置が使われています。抽出した成分は、化学肥料に用いられています。



使用済みバッテリーから  
レアメタルをリサイクル



使用済みのリチウムイオンバッテリー (LiB) から回収したニッケルやコバルト等の溶液を、高純度で結晶化する際に、当社装置が活躍しています。また製造時に発生する廃棄物からレアメタルを回収する際にも役立っています。



省エネ設計で、  
CO2の排出削減に貢献

乾燥装置での排熱利用をはじめ、蒸発濃縮装置でのヒートポンプ方式やエゼクタ方式の採用など、CO2排出量の低減とランニングコスト削減を両立する装置の省エネ化にも取り組んでいます。





# Chemical Equipment

積み重ねた技術力で、お客さまのあらゆるご要望をカタチにする

カツラギ工業が提供する製品は、ほぼ一品一様のオーダーメイドです。過去に納入したもので同じ装置はほとんどなく、積み重ねた多数の実績は、そのまま当社の技術力となっています。一方、一貫して共通しているのは、お客さまと共にテストや議論を重ね、お客さまの視点で開発を進めてきたこと。お客さまのご要望を、自社の技術でいかに具現化出来るかを常に考え、チャレンジしています。



乾燥装置



## 国内実績No.1のドラムドライヤー

回転する円筒型のドラム内部に、蒸気などを用いて熱を投入。加熱したドラム外側に液状の原料を流すことで蒸発を行い、原料を個体として表面に付着させます。付着した原料は、固定されたナイフで連続的にドラム表面から掻き取り、回収します。カツラギ工業では他にも、目的にあわせたさまざまな乾燥装置をご用意しています。



蒸発濃縮装置



## 独自の技術で、メンテナンスの作業を軽減

蒸発濃縮は、溶液中の水分などを沸騰・蒸発させ、濃度の高い液体をつくる技術です。この工程では、内部の焦げ付きやパイプの目詰まりといった課題があり、定期的なメンテナンスは欠かせません。カツラギ工業では構造の変更や熱の制御技術により、これらの課題を低減。メンテナンスの時期を大幅に伸ばすことで、効率的な操業を可能にしています。



晶析装置



## 実績に裏付けられた技術力で、あらゆる物質を結晶化

溶液を加熱もしくは冷却することで、そのなかに含まれる成分を結晶にして取り出す工程が晶析です。取り出す材料によって、さまざまなケースが想定されるため、ある意味経験がものをいう分野でもあります。カツラギ工業では、この晶析装置でも多数納入実績があり、さまざまな物質に対応できる技術力を備えています。



冷却固化・各種化学装置



## さまざまな化学装置にフレキシブルに対応

他にも、樹脂などの素材を低温で固め、ハンドリングを良くするドラムフレーカーや、乾燥・蒸発濃縮・晶析装置の周辺機器など、さまざまな化学装置を製造しています。また生産中止になった古い装置の更新についても、当社の技術を生かせるものであれば、可能な限り対応しています。



# Expert Engineer

## 全員が技術に精通し、妥協なきものづくりを目指す

技術部はもちろん、営業から製造部まで、すべての人間が技術に精通しているところがカツラギ工業の強み。社内では、より良い製品をつくるための意見交換が活発に行われています。また「会社は人」という考え方のもと、各種資格取得の支援から学会での活動まで、人材育成にも積極的に取り組んでいます。

### ■ 導入までの流れ



お問合せに対して、当社営業部が内容をヒアリング。そこから逆算し、納期や予算をご提案します。

サンプルをご提供いただき、お客さま立会いのもとでテストを実施。ご満足いただければ契約へと進みます。

窓口を営業部から技術部に移行。専任の担当となるプロジェクトマネージャーが設計を進めます。

設計図をもとに製造工程の詳細を決定し、製造を開始。完成後は、厳密な社内検査を経て出荷します。

技術者が現地に赴き装置を設置。試運転を行い納品となります。操業後は営業部がアフターサービスを担当します。

### ■ 営業部

カツラギ工業の営業は、全員がセールスエンジニア。技術・設計の経験があるので、製品の仕様などは打合せの段階で概ね決定することができます。設計前の業務も、スムーズに進められるところが当社の強みです。



### ■ 技術部

契約後は、技術部が専任となるプロジェクトマネージャー (PM) を立て、業務を引き継ぎます。PMは設計のほか、お客さまとの打ち合わせや、製造部との調整、出荷前の社内検査、現地での試運転など全工程を管理します。



### ■ 製造部

実際に装置を形にするものづくりの部門です。当社製造部の強みは、確かな技術力と豊富な経験。そのスキルを生かし、設計段階から期間の短縮やコストダウンの方法などを技術部に提案。より効率的に製造を進めます。



### 開発体制

技術開発部門を中心に、新しい技術の情報収集や、導入する新技術の検証などを行っています。また、京都大学や兵庫県立大学などと産学連携による研究開発を進めるとともに、日本粉体工業技術協会の晶析分科会にも所属し、新技術の発表を積極的に行うなど、アカデミックな活動にも力を入れています。





# Technical Capabilities

ものづくりの技術と知恵を駆使し、顧客の満足するものを創造すると共に、会社と社員が成長することで社会に貢献する

カツラギ工業は、長年にわたり多くの化学装置をお客さまに提供してまいりました。おかげさまでドラムドライヤーでは国内No. 1の実績を上げるまでに成長し、他の化学装置も実績が上がってきています。また近年では、当社の装置が環境分野にも広がっており、社会に貢献できる企業であることを改めて認識しています。実績においても、環境面においても、われわれが社会で果たすべき役割が、高まっているのは間違いありません。昨今「他社に断られて困っている。力になって欲しい」というお問合せが増えています。リスクを過大評価するあまり、このような事態が起きていると推察していますが、われわれは、リスクはリスクとしてお客さまと共有し、共に乗り越えていける会社でありたいと思っています。その思いを大切に、これからも「社会に必要とされる会社」を目指し、チャレンジしてまいります。



代表取締役 社長 佐竹 寿郎

## 会社概要

商号	カツラギ工業株式会社	工場	敷地 1,812m <sup>2</sup> 建物延面積 1,940m <sup>2</sup>
所在地	本社および工場 〒557-0063 大阪市西成区南津守5丁目4番6号 TEL 06-6659-2432〈代表〉 FAX 06-6658-3789	研究開発棟	敷地 619m <sup>2</sup> 建物延面積 591m <sup>2</sup>
創業	1968年8月	取引銀行	関西みらい銀行 天下茶屋支店 三井住友銀行 天下茶屋支店 りそな銀行 住吉支店
設立	1974年2月	営業品目	化学機械、産業機械及びこれら装置の設計、製作

## 会社沿革

- 1968年 造船所の水門やタンクなどを手掛ける鉄工所として創業
- 1974年 株式会社として法人化
- 1980年 ドラムドライヤーを主力製品として、鉄工所から化学装置メーカーへ転身
- 2006年 グループ会社として、蒸発濃縮・晶析装置を手掛けるクリスタルエンジニアリング(株)を設立
- 2011年 クリスタルエンジニアリング(株)を統合
- 2014年 韓国にカツラギコリア(株)を設立